

# 衆議院海賊行為への対処並びに国際テロリズムの防止及び 我が国の協力支援活動等に関する特別委員会ニュース

平成 21.7.13 第 171 回国会第 10 号

7 月 13 日（月）、第 10 回の委員会が開かれました。

## 1 北朝鮮特定貨物の検査等に関する特別措置法案（内閣提出第 69 号）

- ・中曽根外務大臣、金子国土交通大臣、浜田防衛大臣、河村内閣官房長官、伊藤外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・麻生内閣不信任決議案が河野議長宛に提出されたことにより、質疑者が質疑を途中で取り止め、休憩の後、委員会は散会しました。

### 冬 柴 鐵 三君（公明）

- ・貨物検査を実施するに当たって、関係省庁間の連携や情報共有のための枠組を作る必要があると思われるが、中曽根外務大臣及び河村内閣官房長官はどう考えるか。
- ・公海上の外国船舶に対する貨物検査を実施するためには旗国の同意が必要とされているが、その取り付けの手続きはどのように行うのか。
- ・国際法上認められている領海の無害通航権と本法案における貨物検査との関係はどのように整理しているか。

### 松 浪 健四郎君（自民）

- ・本法案の成立は、国連安保理決議第 1874 号の採択に大きな役割を果たした我が国の国際的な責務だと思われるが、河村内閣官房長官の決意如何。
- ・北朝鮮による拉致・核・ミサイル問題の脅威を河村内閣官房長官はどのように捉えているのか。
- ・海上自衛隊は日常的に米軍との共同訓練や情報共有を行っているが、そういった情報はどのように海上保安庁に提供されるのか。

### 秋 葉 賢 也君（自民）

- ・衆議院外務委員長がいわゆる核密約の証言を確認したことを踏まえ、政府による密約の有無を改めて中曽根外務大臣に問う。また、外相は本件再調査を行う意志を持っているのか伺いたい。
- ・防衛関係費が縮減される中、中国及び韓国は防衛予算を増大しているが、我が国の国家予算における防衛予算の在り方と、現在、防衛力の整備状況が十分であるかどうか、政府の見解を伺いたい。
- ・本法案の実効性を担保するため、回航命令に従わなかった時の対応、検査の行い方等、海上保安庁の具体的な活

動内容について伺いたい。

### 矢 野 隆 司君（自民）

- ・国交のない北朝鮮から本法案第 8 条の旗国の同意等を如何なる方法で取るのか、その方法をについて伺いたい。
- ・検査対象物資をリストアップする制裁委員会に我が国として如何なる働きかけをしているのか、またリスト作成完了時期について伺いたい。
- ・本法案第 9 条に規定される海上保安庁と海上自衛隊の迅速な連携のための必要な取組みについて伺いたい。

### 大 島 敦君（民主）

- ・我が国は北朝鮮に対して全面禁輸という制裁措置を取っている反面、中国及び韓国は貿易量を増大しており、北朝鮮に対して本法案の実効性について疑問を持つが、河村官房長官の所見を伺いたい。
- ・北朝鮮が一連の安保理決議違反行動を取ったことによる、2002 年 9 月に調印した日朝平壤宣言の現在の位置付けについて、中曽根外務大臣の見解を伺いたい。
- ・本法案の根拠となっている国連安保理決議第 1874 号は、集団的安全保障の枠組と考えられるが、本法案は警察作用の枠組となっている。この相違について河村内閣官房長官の見解を伺いたい。

### 伴 野 豊君（民主）

- ・いわゆる核密約の真偽及び衆議院外務委員長による政府の密約否定発言撤回要求に関する政府の見解を伺いたい。
- ・最近の北朝鮮における一連の行動の背後にある意図について、政府はどのように分析し、どういった対策をとろうとしているのか。
- ・本法案は、警察権行使の範囲を広げるための立法であ

ることを踏まえ、自衛隊の出動を前提とすることなく、予算措置も含め海上保安庁で対処できるようにすべきではないか。

の委員会ではあるが、このようなことが指摘されていることについて、河村官房長官はどう受け止めているのか。

- ・海上保安庁の情報収集能力を踏まえれば、自衛隊に支援を求めるような不測の事態は有り得ないと思うが、海上保安庁の見解を伺いたい。

### 松野 頼久君（民主）

- ・本法律案第3条に基づき船舶検査を行うための要件となる「北朝鮮特定貨物を積載していると認めるに足りる相当な理由」とは具体的にどういうものか。
- ・本法律案第9条第2項の「海上保安庁のみでは対応することができない特別の事情がある場合」に関し、政府は激しい抵抗をしている場合であると答弁しているが、旗国が同意している場合、激しい抵抗は考えられないのではないのか。
- ・本法律案及び海上警備行動に基づき、自衛隊は北朝鮮特定貨物の検査を行うことができるのか。

### 川内 博史君（民主）

- ・藤山・マッカーサー口頭了解において日米間で合意された核の「持ち込み」の定義について経緯等を伺いたい。
- ・自衛隊による北朝鮮特定貨物に対する検査について、海上警備行動を発令する可能性を想定し、事前に閣議決定をしておく必要性はないか、浜田防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・米軍戦闘機が鹿児島県十島村小宝島分校上空100mを横転飛行している実態を踏まえ、日米合同委員会において、在日米軍機による飛行訓練の在り方を再検討する必要性について、中曽根外務大臣の見解を伺いたい。

### 赤嶺 政賢君（共産）

- ・船舶検査の実施に当たって、「北朝鮮特定貨物を積載していると認めるに足りる相当な理由」とであると判断するための情報の入手先、その方法及び判断権者は誰なのか伺いたい。
- ・船舶検査の前提となる「旗国の同意」が得られない場合の対応及び便宜置籍船が問題となった場合、旗国の同意によって認められる執行管轄権の具体的範囲について伺いたい。
- ・本法案第9条第2項の「海上保安庁のみでは対応することができない特別の事情がある場合」に想定されている自衛隊による「海上警備行動」の一環として、威嚇射撃は認められるのか。

### 阿部 知子君（社民）

- ・いわゆる核密約問題に関して衆議院外務委員長が、過去の政府答弁の修正を求めることを明らかにしており、他